

地図帳のページ	ページタイトル	問いの番号	解答(解説)
110	日本の位置とまわりの国々	☑ 40	東京からみて、日本の排他的経済水域で一番距離が離れているのは、南鳥島の周囲で、およそ2000kmある。方位は南東になる。(この図は正距方位図法なので、中心からの距離と方位が正しく表現される。)
111	日本列島(1)	☑ 41	東シナ海に広がる水深200m未満の部分の地形は、大陸棚である。南西諸島は、p.163③図でわかるように、フィリピン海プレートが、ユーラシアプレートに沈み込む境界である南西諸島海溝の西側に連なっている。
114	日本列島(2)	☑ 42	日本海に面した人口が50万以上の都市は、日本の新潟、北九州、福岡、大韓民国のプサン、ウルサン、ポハン、朝鮮民主主義人民共和国のハムフン、チョンジン、ロシア連邦のウラジオストクである。
116	九州地方	☑ 43	九州地方では、くじゅう連山、阿蘇山、霧島山、御岳(桜島)のように、火山が南北に連なっている。阿蘇山カルデラの外輪山の直径はおよそ東西20km、南北25kmで、自分の暮らしている地域の地図にあてはめると、規模の大きさがわかる。
118	中国地方	☑ 44	中国地方を東西に走る中国山地より日本海側では、冬の降水量が多く、瀬戸内海側では少ない。(p.164⑥図参照)
119	四国地方	☑ 45	四国地方を東西に走る四国山地より太平洋側では、夏の降水量が多く、瀬戸内海側では少ない。(p.164⑥図参照)
122	近畿地方	☑ 46	琵琶湖から流れ出る河川は瀬田川で、最終的には淀川となり大阪湾に注ぐ。この川は、京阪神地域の上水道や経済を支えてきた。
125	大阪湾周辺の地形	☑ 47	大阪平野を囲む生駒山地や六甲山地の縁には、活断層がある。また、上町台地の東側の平地に多かった自然災害は、洪水と考えられる。その理由は、かつてここに湖があり低平な土地であること、大和川が分流して北に向かって流れていたこと、断面図から長瀬川が天井川であることである。
128	中部地方	☑ 48	南北方向に、北から南に並んで3列に連なっている。(糸魚川・静岡構造線の断層地形の一部である。)
130	関東地方	☑ 49	関東平野は、千葉県全体と茨城県の南半分、栃木県の南部から群馬県の南東部、埼玉県、東京都、神奈川県東半分あたりまで及んでおり、濃尾平野や大阪平野よりも面積が大きい。
134	東京都周辺の地形	☑ 50	地図と断面図を比較すると、東京の地形は、西から東に向かって低くなっていることがわかる。途中には、河岸段丘があり、山の手の台地と低地の縁には京浜東北線などの鉄道が通る。低地の防災上の課題は水害の危険性が高いことである。特に荒川周辺では江戸時代以降の埋立地を除いて、海面下の土地が広がっており、一度浸水すると水が引きにくいという課題もある。
135	東北地方	☑ 51	入り組んだ海岸線が多いのは太平洋沿岸で、この地形はリアス海岸とよばれる。
138	北海道地方	☑ 52	南端の白神岬から北端の宗谷岬まで、緯度差はおよそ4度ある。ほかの地方図の縮尺にあてはめると、北海道がページに入りきらないほど大きいことが確認できる。
140	北海道地方要部	☑ 53	屈斜路湖や洞爺湖などは、円形に近く、火山や島があることからカルデラ湖と読み取れる。サロマ湖や風蓮湖などは、海岸沿いにあり砂州で海から隔てられていることからラグーン(潟湖)と読み取れる。朱鞠内湖やシューパロ湖などは、ダムがあることから人造湖と読み取れる。